

くと、しまいには池中の鴨を、一羽も残さず皆生捕る事ができませう。何と旨い法では有りませぬか。

お月さまと星め

やまとの翁

ある月の十五日の火どもし頃一人のお大名がお氣に入りの三太夫をお座近く召されて、「コリヤ〜、三太夫、もーお月さまが出たか」と尋ねられた。すると、三太夫、「ハッ」と平伏し。

「これは殿さまの仰せとも思はれませぬ。殿さまが他々のものにお對ひ遊ばされては、お座附はご無用かと存じます。殿さまからお座附に遊ばされる様では私ども始め下々

の者どもは如何様に申して宜しいやら頓と困りますので、どーか其邊の御賢慮を願はしうござりまする」

お大名なるほど、御感の體で、

「フーンソーか」

どの一言。やがて暫たちますと、

「こりや〜三太夫」

「ハッ」

「エーットそ〜あの星奴らはもー出よつたかな」

節儉家の集會

だん〜と世の中が進んで物入がかさんで暮し向きが難儀になると云ふ所から勤儉